

わたしは用心棒です。
— 皇子は、ひきうけました。

『精霊の守り人』より

北九州市立文学館第24回特別企画展

上橋菜穂子と 〈精霊の守り人〉展

2017.7.22[土]—9.3[日] 北九州市立文学館

開館時間=9:30~18:00(入館は17:30まで) *7.22は開会式のため、展示室入場は10:30から 休館日=月曜日

一般 ¥500 中高生 ¥200 小学生 ¥100

*子ども文化パスポートの適用あり *その他の割引については裏面参照

主催=北九州市立文学館

後援=北九州市教育委員会、NHK北九州放送局、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、西日本新聞社、

RKB毎日放送、九州朝日放送、TNCテレビ西日本、FBS福岡放送、TVQ九州放送

協力=借成社、新潮社、理論社、講談社、KADOKAWA、筑摩書房、香蘭女学校、日本国際児童図書評議会

企画協力=NHKエンタープライズ

企画制作=NHKサービスセンター、世田谷文学館

日本ファンタジーの金字塔〈守り人〉シリーズが北九州に!

2014年に児童文学における最高の賞である国際アンデルセン賞作家賞を受賞した上橋菜穂子は、『精霊の守り人』『獣の奏者』『鹿の王』などさまざまなベストセラーを発表し続けています。異なる価値観や文化を持つ人々がともに生きる姿を感動的に描く作品は、海外でも高い評価を得て、愛されています。

本展は、代表作である〈精霊の守り人〉シリーズを中心とした上橋作品の魅力に迫る、初の大規模な展覧会です。シリーズ関連資料や文化人類学の研究資料、語り下ろしのインタビュー映像をはじめ、TVドラマやアニメの関連資料、漫画化された作品の展示、〈守り人〉シリーズで描かれる異世界「ナユグ」を表現した映像インスタレーションなど、見どころ満載。

壮大な物語の世界を、ぜひご堪能ください。



上橋 菜穂子 うえはし なほこ
作家/川村学園女子大学特任教授

1962年、東京都生まれ。オーストラリアの先住民アボリジニを研究。89年、『精霊の木』で作家デビュー。野間児童文芸新人賞、産経児童出版文化賞ニッポン放送賞、米国図書館協会バチェルダール賞などを受賞した『精霊の守り人』をはじめ、『狐笛のかなた』『獣の奏者』など著書多数。2014年に国際アンデルセン賞作家賞、翌年『鹿の王』で本屋大賞を受賞。16年春より、〈守り人〉シリーズがNHK放送90年大河ファンタジーとしてドラマ化された。17年11月より、最終章が放送予定(主演:綾瀬はるか)。



二木真希子『精霊の守り人』カバー (複製) 1996年、偕成社



佐竹美保『虚空の旅人』カバー 2001年、偕成社



〈守り人〉シリーズ全12巻、偕成社/画:二木真希子、佐竹美保

E V E N T S

7|22(土) 開会記念講話 ドラマ「精霊の守り人」を語る

11:00~12:00

- 講師 片岡敬司さん (NHK大河ファンタジー「精霊の守り人」監督)
- 会場 北九州市立文学館
- 申込 不要

8|19(土) ワークショップ 粘土で作る精霊のマカロンタワー

①10:00~12:00

②14:00~16:00

- 講師 鈴山キナコさん (クレイアーティスト)
- 会場 北九州市立文学館
- 定員 各回15名(先着)
※小学生以上対象(同伴者がある場合は1名まで)
- 参加費 700円
- 申込 7月19日(水) 9:30~電話受付 (093-571-1505)



(10×20cm)



NHK大河ファンタジー「精霊の守り人」ドラマイメージボード (制作:丹治匠)

期間限定 コラボメニュー〈バルサの食卓〉

文学館に隣接するカフェ・ラポール中央図書館に〈守り人〉シリーズの特別メニューが登場します。

北九州市立文学館

〒803-0813 北九州市小倉北区内4-1 TEL 093-571-1505 FAX 093-571-1525

www.kitakyushucity-bungakukan.jp/

- JR小倉駅から徒歩15分 ■ JR西小倉駅から徒歩10分
 - 勝山公園(市立文学館前)バス停から徒歩1分 ■ 北九州市役所前バス停から徒歩2分
 - 小倉北区役所前バス停から徒歩2分 ■ 北九州都市高速大手町ランプから2分
- ※ 駐車場は文学館最寄りの各有料駐車場をご利用下さい。

割引

- ・年長者施設利用証提示者の割引は2割
- ・療育手帳提示者、身体障害者手帳提示者、精神障害者保健福祉手帳提示者及び付添人(身体障害者の方の付添人は本人が4級以上)は無料
- ・下関市介護保険被保険者証、公的機関が発行した福岡市、熊本市、鹿児島市の65歳以上の市民であることを確認できる証明書提示者の割引は2割

